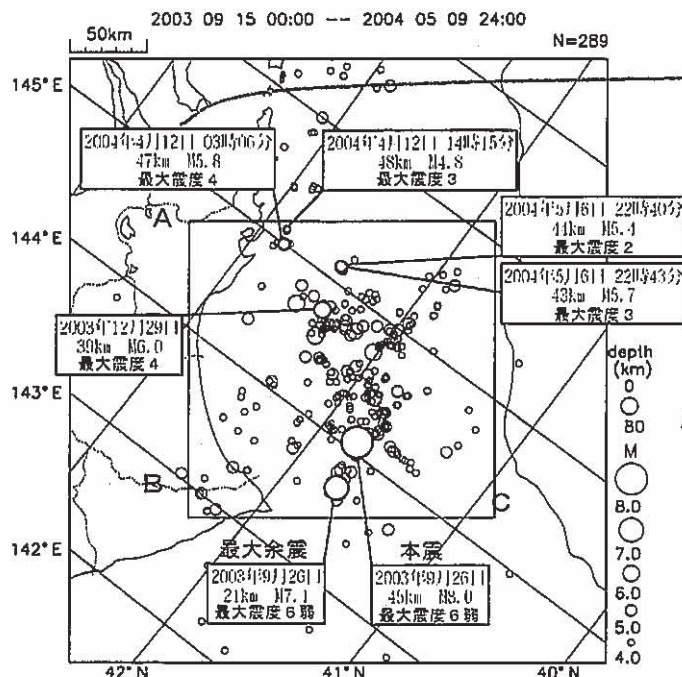
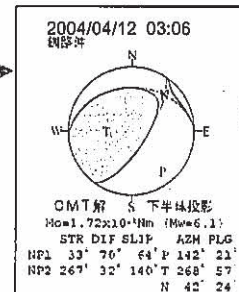


十勝沖地震（2003年9月26日、M8.0）の余震活動

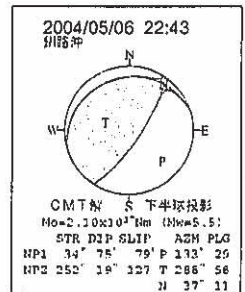
震央分布図（ $M \geq 4.0$ ）



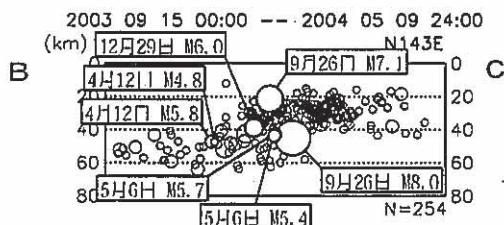
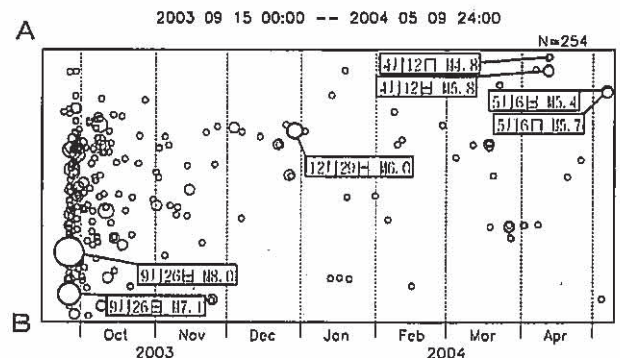
4月12日のCMT解



5月6日のCMT解



矩形内M4.0以上の地震の時空間分布図（A-B方向）



矩形内断面図（B-C方向）

2003年9月26日の十勝沖地震（平成15年（2003年）十勝沖地震）の余震活動は、引き続き減衰傾向と考えられるが、3月中旬以降M5を越える地震が6回発生するなどやや数の多い状態となっている。4月12日にM5.8（最大震度4）とM4.8（最大震度3）、5月6日にM5.7（最大震度3）とM5.4（最大震度2）の余震があった。最大震度4を観測したのは、2003年12月29日（M6.0）以来である。

4月12日（M5.8）と5月6日（M5.7）の地震の発震機構は本震とほぼ同様の北西-南東に圧力軸を持つ逆断層型であった。

矩形内の地震活動経過図（ $M \geq 4.0$ 、規模別）

